

令和6年度第2回東北厚生局地域包括ケア推進意見交換会 議事概要

1 日 時 令和6年9月6日（金）午前9時30分から正午まで

2 場 所 Web会議方式（Zoom）

3 会議概要

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（以下「一体的実施」という。）は、令和6年度までに全市町村において実施されることを目指し、後期高齢者医療広域連合及び市町村は県、国民健康保険連合会等と連携して取組を推進しているところであり、令和6年4月1日現在、東北厚生局管内では227市町村中226市町村で実施している。
- 本会は、東北厚生局管内の関係者が一体的実施の意義を確認し、関係者間で意見交換を行うことにより、地域の実情を踏まえた効果的かつ効率的な一体的実施に向けた市町村支援の推進・強化につながることを目的とした。
- 前半の行政説明では、「国の動向とPDCAサイクルに沿った一体的実施に向けて」をテーマとし、「一体的実施に係る現状と課題」、「高齢者の特性を踏まえた保険事業ガイドラインの改定」、「一体的実施の推進に向けた体制整備」及び「データヘルス計画に関する取組と今後の検討等」について共有を図った。
- 後半の意見交換は、組織別（県・後期高齢者医療広域連合・国民健康保険連合会）、県別のグループに分かれて実施した。組織別では、昨年度からの進捗、現状及び課題について共有した上で、効果的かつ効率的な市町村支援策を検討した。県別では、組織別で検討した内容を共有した上で、県内の組織間で連携・協働ができる取組について検討し、共有を図った。最後に全体で市町村支援について共有し、さらに一体的実施に係る医療機関との連携や地域包括支援センターの役割等について意見交換を行い、市町村支援の推進強化を図った。

以 上